

# 「転移を有する前立腺癌患者の長期予後と治療効果の臨床検討」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年12月26日～2028年3月31日

## 〔研究課題〕

転移性前立腺癌の長期予後と治療効果の臨床検討

## 〔研究目的〕

転移性前立腺癌は予後不良の疾患ですが、抗がん剤や新規ホルモン療法薬や放射線治療の介入などにより、生存期間の延長が期待されています。転移性前立腺癌の治療内容と効果を明らかにし、今後、より最適な治療に向けた、基盤的なデータを構築することを目的とします。

## 〔研究意義〕

治療効果が高い症例の特徴が特定できればその治療を、その特徴のある症例に重点的に使ってゆく方針がたてられます。そうでない症例には、より強い治療法が必要となります。

## 〔対象・研究方法〕

2008年から2019年11月までに当院で転移性前立腺癌と診断された患者様を対象とします。

前立腺癌の進行度、悪性度(グリーソンスコア)、診断日、治療日、治療内容、治療効果と予後など、癌の診断治療に関するデータを解析し、癌の進行度や分類と予後との関連を後ろ向きに解析し、今後の前立腺癌診療に役立つ目的の研究です。

## 〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター

## 〔個人情報の取り扱い〕

すべて匿名化して情報を扱い、研究発表も匿名で行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

**問 い 合 わ せ 先**

研究責任者： 准教授 小島聡子

研究分担者： 教授 納谷幸男

所属： 帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科

住所： TEL:0436-62-1211(代表)〔内線 1240 〕